

日本 NGO 連携無償資金協力 (Grant Assistance for Japanese NGO Project)  
効果検証シート (EFFECT/IMPACT MEASUREMENT/EVALUATION SHEET)

◎基本情報 (Basic Information)

国名・案件名 Country / Project Name	フィリピン／ ヌエバ・ビスカヤ州重要水源地における住民参加型森林管理支援プロジェクト
事業費総額・N 連支援額 Total Budget / Grant Amount	総支出 \$ 96,981.29 (うち支援額 \$ 94,950- 自己資金 \$ 2,031.29-)
事業開始日と完了日 Date & Duration of Project	2008年1月17日～2009年1月16日
延長の有無及び期間 Date & Extension Period	なし
事業の上位目標 Overall Goal	マガット河流域において、地域住民による持続可能な森林・流域管理が実施される
プロジェクト目標 Project Goal (Objective)	ヌエバ・ビスカヤ州中山間地の4郡4村で、地域環境管理を担う関係機関と連携し、住民参加型の森林管理が促進される
成果(小目標) Expected Outputs	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地方自治体や天然資源環境省など政府機関と現地 NGO 等のパートナーシップを強化し、住民参加型の森林管理を持続させる体制を整える</li> <li>2) モデル農場を設置して持続可能な農法を住民と共同で実践する</li> <li>3) 地域住民向けの環境教育を行う</li> </ol>
事業概要・活動内容 Project Summary	<p>ヌエバ・ビスカヤ州は、フィリピン最大の穀倉地帯を支えるマガット、カガヤン二大河川の流域に位置する。同州では、森林の荒廃、土壌流出や洪水など環境劣化が深刻である。申請団体は、2002 年より、地域環境の回復を目標に住民参加型の森林組合を支援してきた。これまで、地域で森林組合の組織化を支援し、2 村において生計向上支援を行い、成果を上げてきた。本事業では、これまでの活動を継続的に拡大・発展させるために、新たに4村で</p> <p>①地方自治体や天然資源環境省など政府組織と現地 NGO 等のパートナーシップを強化し、住民参加型の環境管理を持続させる体制を整え、②モデル農場を設置して持続可能な農法を住民と共同で実践し、③地域住民向けの環境教育を行うものである。</p>

指標からみた達成度 Degree of Achievement	立案時に指標を設定した項目 Evaluation Items	立案時目標値 Success Indicator when Planned	終了時達成値 Achievement Indicator at the Project-end
<p>プロジェクト目標とインパクトに関する指標の目標値と達成値</p> <p>Objectively Verifiable Indicators against Project Goal and Overall Goal</p>	<p><b>プロジェクト目標</b></p> <p>①パートナーシップの環境管理</p> <p>②農場設置</p> <p>③環境意識改善</p>	<p>①政府機関と現地 NGO、関係機関がパートナーシップを組み、互いに協力して住民参加型の環境管理を持続させる体制が整う</p> <p>②対象4村に合計 32 ヘクタールのモデル農場が設置される</p> <p>③対象4村の住民の少なくとも6割の成人と6割の児童の環境意識が改善する</p>	<p>①32 の政府機関が事業に協力し、内 17 機関は協力を確約する「協力の宣誓書」を交した。</p> <p>②合計 32 ヘクタール、70 名の協力農民が持続的な農法の技術を習得した。</p> <p>③対象4村すべての「バラガン・アセンブリ(村の全体集会)」にて環境啓発活動を実施し、少なくとも8割の成人の意識向上が図られた。また対象 4 村の 5 校すべてにおいて全校生徒を集めた集会にて環境教育セミナーを実施したことで、少なくとも9割の児童の環境意識が改善された。</p>
	<p><b>インパクト</b></p>	<p>①直接裨益者以外の追随者が現れる</p> <p>②地方行政の政策に反映される</p>	<p>①各村で、協力農民の1割程度の協力農民以外の農民が持続可能な農法を模倣している。</p> <p>②4 村において「村の水源地管理のためのアクションプラン」が策定された。</p>
<p>前提条件又は外部要因 Pre-conditions and/or Important Assumption</p>	<p>大規模な開発事業や天災などにより、対象地域の自然環境が破壊されない。</p>		
<p>他のアクターとの役割分担の状況・複数年プログラムの中における位置づけ Division of Roles with other Actors / Positioning of the Project in-between multi-year Program</p>	<p>関係者を一堂に会して関係者会議を 3 度実施するなど、関係者間の連携に努めた。このことにより、対象地域における「持続可能な傾斜地農業」と「環境教育の実施」を、パートナーである関係機関(者)内で役割分担が明確化されている。各パートナーの具体的な協力内容は、「協力の誓約書(Pledge of Cooperation)」として文書化されている。</p>		

## ◎検証結果 (Result of Impact/Effect Measurement)

### 1. 検証概要 (Outline of Measurement Results)

検証日時(期間・季節) Date / Duration / Season	2009年12月3～8日
検証者氏名 Name of Surveyor	2009年度効果検証プログラムチーム(筒井、濱崎、森、河辺、鈴木)、 澤村事務官
検証該当期間 Period Measured	事業終了後1年(2年度事業実施中)
指標等から確認できた事業効果の現状 Description of Project Impact against Indicators	(1) 有効性 国の天然資源省、地元行政機関、現地 NGO などとの関係が構築され、関係諸機関が環境保全の重要性を認識し、協働している。本プロジェクトはその中心的な役割を担い、住民が参加して森林保全を行うべく、持続可能な農法の導入が協力農民を通じて実践されている。また、行政や他の NGO、住民が相互に密接な連携を取りながら進めていることや、村のリーダーの主体的取り組みと合わせ、事業の有効性は高く評価できた。
	(2) インパクト 事業開始間もない本プロジェクトによるインパクトの発現は限定的であるが、対象各村で協力農民以外の農民が持続可能な農法を模倣し始めており、その萌芽を確認できた。また行政において「水源地管理のためのアクションプラン」が、村と郡レベルで作成され、予算化されるなど本事業は確実に正のインパクトを及ぼすことが期待できる。
	(3) 自立発展性 「村の水源地管理のためのアクションプラン」が4村の年間計画に組み込まれ、少額だが予算が振り分けられていること、村のリーダーや行政の役人の主体的取り組みが非常に高いことから、現時点での自立発展性は高いと判断できる。
	(4) その他:
備考 Remarks	特記事項なし

### 2. 項目別検証結果 (Result of Effect Measurement by Evaluation Points/Items)

項目 (Item)	結果 Result	結果説明 (Description of the Result)
有効性 Effectiveness		効果検証を通じ、当該事業が地元行政機関(国、郡、市、村)、NGO など関係諸機関との連携による環境保全に向けたそれぞれの役割が確認された。 また、今回の検証で訪れたすべての住民は森林保全と持続的農業の導入に理解を示すとともに実践していることから、その意味を十分に理解していることがわかった。また、村のリーダーの主体的取り組みと合わせ、事業の有効性は高く評価できた。更に、対象を農民だけに絞らず、地域に住む子どもにも広げ、環境教育を通じて意識の高揚を図るなど、地域全体の森林管理の意識付けに寄与していることが確認された。

インパクト Impact		<p>行政や NGO の協働により、住民への意識向上が想定以上に早く進み、また行政側の関心も非常に高く、森林保全に関する事業が予算化されるなどのインパクトがあった。また協力農民によるデモンストレーションは、地域の伝統技術や知識を活かした無理のない農法であることから、事業2年目の今年には協力農民が順調に増加している。環境教育については、実施する学校の教師が積極的に取り組み、手応えを感じていることなどが報告され、将来的な環境意識の高まりが期待できる。</p>
自立発展性 Sustainability		<p>行政、NGO 及び住民の間にオーナーシップが確認された。また村レベルにおいて立案された「水源地管理のためのアクションプラン」が既に認可されたことにより、今後行政からのサポートもより強化される見込みである。対象村内には住民同士の相互扶助のしくみが存在し、協力農民から他への技術移転が期待されるなど自立発展の可能性は非常に高いと考えられる。</p>
効率性 Efficiency		<p>事業は、予算内で計画通り実施されていることが確認された。地方行政は、技術指導、事業活動に必要な車両等のリソースを投入したほか、森林保全に向けた費用を予算化する動きがみられた。また学校やローカル NGO (FREND S) 等の協力により、環境教育が推進されたことが確認された。このような取り組みを通じ、本プロジェクトが当初の事業予算内で想定された以上の成果が得られたと判断することができ、非常に高い効率性を示している。</p>
妥当性 Relevance		<p>事業対象地であるヌエバ・ビスカヤ州の高地では、水源地・森林の持続的な管理を優先課題として位置づけている。本事業の目的・内容は、対象4郡の地方自治体や環境天然資源省をはじめとする行政の水源地管理計画と合致しているため、妥当性が非常に高いと判断される。但し、上位目標を達成するためには、農耕地以外の森林保全回復、治水等のより広範な対策を視野に入れる必要があると考える。</p>
その他の検証項目 Other Important Items		<p>今回の効果検証では、積極的な女性参画およびこの事業に関しての高い関心が見受けられた。また、今回導入された農法は、傾斜地での表土流出を軽減するとともに、堆肥の導入による地味の強化を目指しており、住民からも化学肥料の使用が減少するのではないかと期待を聞くことができた。</p>

### 3. 学び、気づき、得られた提言等 (Lessons Learned and Recommendations)

- 上位目標達成に向けては、今後農耕地以外の森林保全も視野に入れる必要がある。たとえば、環境教育に関しては、対象児童をより下流域にも広げ、植林活動や地域住民との交流を推進することも一案ではないだろうか。
- まだ事業経過の年数が少なく効果の有無が確認できなかったが、今後は肥料使用のデータを蓄積、分析するなど当プロジェクトのインパクトを数量的に把握していくことが望まれる。
- 行政機関、NGO、住民との協力体制が確立されていることが、本事業を将来上位目標の達成に向けて継続する上で、大変重要であると考えられる。これは、当プロジェクトが包含する大きな潜在価値であり、今後の事業の発展が期待される。
- 自立発展性やインパクトの発現に寄与するものとして、このような官・民のパートナーシップの成功事例を示していくことは、他の類似案件への大きな参考になると考える。

### 4. 検証方法 (Methods used for Effect Measurement)

調査方法	文書のレビュー(申請書及び報告書) 事業関係者への直接インタビュー(事業実施団体担当者、地元自治体関係者、事業実施協力団体担当者、事業の直接受益者、事業の最終受益者) 観察及び視察(農場)		
情報提供者氏名 Name of Informants	肩書 Title /Position	所属先 Affiliation	入手機会等
省略			
活用資料等 Documents Used	事業完了報告書付属資料		

### 5. 本部記入欄 (For Head Office Use)

検証結果を踏まえた今後の方針や改善策 Future direction and/or Measurement to be taken for further improvement	省略
---	----